

新潟県化学インターハイ

(Niigata Interscholastic Chemistry Championship)

新潟県化学インターハイ開催の目的

- スポーツの大会のように新潟県の高校生が集い、化学の実力を競うコンクールを開催することにより、新潟県高校生の化学への興味・関心を喚起し、意欲・能力を高める機会を提供する。
- 他校のライバルたちと切磋琢磨し、あるいは友情を深めることにより、化学を更に深く学ぼうとする強い動機付けを育む。
- 高校化学の最高峰に挑む場を提供し、全国高校化学グランプリへの参加者の増加、ひいては国際化学オリンピックの代表、金メダルの獲得を目指す生徒を育成する。
- 化学の大会を通じて、未来を担う優秀な若い人材を輩出できる基盤を構築する。

新潟県化学インターハイ運営方針

- 日本化学会関東支部新潟地域懇談会による主催、新潟大学理学部及び大学院自然科学研究科共催とする。
- 新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県高等学校文化連盟、新潟日報の後援を受ける。運営方針決定などについては日本化学会関東支部新潟地域懇談会の協力・助言を仰ぐ。
- 新潟大学理学部内に大会組織委員会を置き、運営する。
- 予算については、日本化学会関東支部新潟地域懇談会の予算及び各種助成金を主収入とする。

新潟県化学インターハイ種目

大会組織委員会により種目を定める。

化学筆記試験（知識を問う問題）

3人1組みのチームで参加する。

国際化学オリンピック準備問題より適当な問題を選び、新潟県化学インターハイ出場予定者に即して改変して出題する。12月6日（月）午前中にWebにより公開し、12月13日（月）までにWeb入力により提出する。

解答率を評価し、順位を決める。

実験コンテスト

3人1組みのチームで参加する。

教科書に掲載されている実験など実験種目を事前に公表する。

内容は、酸塩基の滴定技術を競い、濃度計算を正確にこなせるかを評価する実験（中級実験）を行う。

参加を希望するチームは、Webにより参加登録をする。受理されると未知試料および実験に使用する指示薬が送られてくるので、所属する学校で実験を行い、結果を12月13日（月）までにWeb入力により提出する。評価はレポートの内容によって行う。

総合種目

化学筆記試験及び実験コンテストをチームで行い、総合成績を競う。

実験種目内容

1 水酸化ナトリウムと炭酸ナトリウムの混合溶液の滴定

（1）実験方法

水酸化ナトリウムと炭酸ナトリウムの混合溶液をワルダー法により滴定し、それぞれの成分の濃度を決定する。

（2）評価方法

参加登録チームに送られた未知試料に対して、結果の正しさを評価する。

（3）備考

参加登録チームに未知試料と共に指示薬が送られてくる。その他の試薬や器具は所属する学校のものを使用する。実験の実施時間は90分とする。

化学筆記試験及び実験種目の成績発表

12月17日（金）にホームページ上で公開する。

表彰

- 表彰：総合優勝（筆記試験種目および実験種目の合計）
- 筆記試験種目および実験種目別優勝・準優勝・敢闘賞（最年少メンバーで構成されたチームの最優秀賞）
- 優勝楯、メダル、賞状などを授与する。

ホームページアドレス：<https://ecnss.sc.niigata-u.ac.jp/nicc/>